

【報告】

高等教育研究センター 平成26年度活動報告

豊 後 宏 記

The 2014-15 Higher Education Research Center Activity Report

Hiroki Bungo

1. 構成員

- センター長 小西 忠男 (グローバルコミュニケーション学科教授)
委 員 橋村 勝明 (初等教育学科教授, 学生サポートセンター長)
今崎 浩 (初等教育学科教授, 教職センター長)
田村 進 (心理学科教授, 教務委員長)
Caleb Foale (Bunkyo English Communication Center センター長, 教授)
高橋 泰道 (初等教育学科学科長, 教授)
[FD 部会] 豊後 宏記 (教養教育部教授)
[IR 部会] 藤井 律子 (人間栄養学科教授)
山田三千夫 (学長室長)
田川 知秀 (学生サポート課課長)
所 掌 部 署 総合支援課 高橋 早苗 (課長)
同 山根 就

2. ワークショップ・研修会の企画・実施

[FD ワークショップ]

高等教育研究センターでは平成26年度, 定期的に FD ワークショップを開催した。このワークショップは申し込み制で, 参加人数に制限を設け, 最少催行 3 名, 最大10名までとした。これは, 申し込み制にすることで, FD に対する強い動機・問題意識を持つ参加者を募り, 少人数開講によって, 着実な知識・技術の定着を図ろうと意図したからである。

第 1 回 「双方向を確立するための socratic の活用法—基礎から応用まで—」

講師: 小西 忠男

日時: 平成26年 5 月27日 (火) 16:30~17:30 場所: 4 号館422教室

参加人数: 8 名

第 2 回 「双方向を確立するための socratic の活用法—基礎から応用まで—」

講師: 小西 忠男

日時: 平成26年 6 月26日 (木) 16:30~17:30

場所: 2 号館251教室 (情報処理演習室 I)

参加人数: 4 名

第 3 回 「アクティブラーニングの理論と実践—SALC での教育的支援を中心に—」

講師: 小館 梓 (本学グローバルコミュニケーション学科・講師)

日時：平成26年 8 月 1 日(金)16:30～17:30 場所： 8 号館831教室

参加人数：10名

第 4 回 「教職課程の基礎・基本について考えてみよう」

講師：今崎 浩

日時：平成26年11月14日(金)16:30～17:30 場所： 4 号館422教室

参加人数：10名

第 5 回 「学生を支える相談の乗り方を学びあおう（基礎編）」

日時：平成26年12月19日(金)16:30～17:30

場所：心理教育研究センター演習室 I

講師：濱田さつき（本学学生サポートセンター助手，学生相談室カウンセラー・臨床心理士）

参加人数：6 名

〔平成26年度 学内研修会〕

日時：平成27年 3 月 5 日(木)13：00～15：30 場所： 6 号館621教室

「挨拶」

高等教育研究センター 高橋 泰道

1. 中央教育審議会答申「新しい時代にふさわしい高大接続の実現に向けた高等学校教育，大学教育，大学入学者選抜の一体的改革について」について 橋村 勝明

2. BMS 大学部門報告

I 報告書の概要 橋村 勝明

II ラーニングコモンズの現状と改善案 田村 進

III 休退学の現状と改善案 中村 卓

<休憩>

3. 平成26年度教育・研究活動支援プログラム報告

I 大学 2 年生次におけるプロジェクト学修の効果について 今崎 浩

II 食支援に関わるボランティア活動への参加が管理栄養士養成課程学生の基本コンピテンシー及び学士力等に与える影響 人間栄養学科

4. 災害危機マニュアルについて 岡 利通

「総評」 学 長 角重 始

なお高等教育研究センターでは，従来の本学 FD のあり方を再検討し改善していくことを目的として，教職員の FD へのニーズを把握するための「FD に関するアンケート調査」を実施した（平成26年 7 月29日(火)～8 月 1 日(金)）。

3. 授業評価アンケート・学修状況調査アンケート

本学では2001年より授業やカリキュラムを改善し教育内容の質の向上をはかるため，学生による「授業評価アンケート」を実施してきた。高等教育研究センターでは，より組織的な FD 活動の推進を目的として，従来の方式の見直しを行い，平成26年度から次のように新たな方式によるアンケートを実施することにした。なお，平成25年度までの「授業評価アンケート」の詳細及び分析については，本誌 p. 53 田村進「学生による授業評価アンケート項目の再検討―広島文教女子大学の場合―」を参照されたい。

① 各学科で専門科目の中からアンケート対象科目を設定する（原則として，1・2 年生対象の全ての必修科目）。

② iPad から学内 LAN に接続・回答させる。

③ 質問項目をこれまでの11項目から5項目に絞る。

本学では、平成25年度生（現2年生）から全員にiPadを配布しているが、3年生以上は必ずしも容易に学内LANに接続できる環境を保持しているわけではない。今年度は試験的運用ということで、有効なデータを得るために対象科目を1・2年生科目に設定したが、来年平成27年度も依然としてiPadを配布されていない学年（4年生以上）がいることになる。この問題については、何らかの対策をたてる必要がある。

授業評価アンケートは前後期の最終第15週目の授業期間（前期：平成26年7月23日（水）～7月29日（火）、後期：平成27年1月24日（土）～1月30日（金））に実施されたが、これと並行して「学修状況調査アンケート」も実施された。実施期間・対象・実施方法は、「授業評価アンケート」と同様であるが、学生一人につき一回の回答でよいので、学科ごとに授業時やチュータータイムなどを利用し、できるだけ1・2年生全員に回答させるようにしてもらい、有効なデータを得ることができた。これらのデータは、高等教育研究センターが中心となって結果を集約し、IR部会で分析を行うことによって、さらなるFD活動の改善が期待できる。

—「授業評価アンケート」質問項目—

- 設問1 教員は、学生の理解度や授業態度などを考慮して、教材を工夫したり、学生の考えや疑問などを授業に反映させたりするなど、適切に授業を運営していましたか。
- 設問2 教員は、学生が授業に積極的に参加できるように、iPadなどを活用したり、グループ学習などで学生の意見の発表やディスカッションを実施したりしましたか。
- 設問3 シラバスの記述や、授業での教員の説明などで、どのような事前学修や事後学修に取り組めばよいか理解できましたか。
- 設問4 授業内容をよく理解するための支援では、どのような内容が有効でしたか。
- 設問5 この授業を受けて、シラバスに到達目標として掲げられている知識や能力を獲得できたと思いますか。

—「学修状況調査アンケート」—

- 設問1 あなたが、前期（後期）に履修登録した科目数を教えてください。
- 設問2 あなたが、前期（後期）に取得する予定の単位数を教えてください。
- 設問3 あなたは、前期の期間中、1週間あたり平均何時間、授業時間以外の学修をしましたか。

4. 学会・シンポジウム等への出席

高等教育センターでは、高等教育の研究・開発に関する学会・シンポジウム等に、センター委員だけでなく関連する委員会の委員などを積極的に出席させ、そこで得られた知見を高等教育研究センター運営委員会で報告させた。

「第5回教育ITソリューションEXPO」

東京ビッグサイト、平成26年5月21日（水）

出席者：橋村 勝明

出張報告：第3回センター運営委員会（平成26年6月11日（水））

「大学教育学会 第36回大会」

名古屋大学東山キャンパス、平成26年5月31日（土）・6月1日（日）

出席者：田村 進

出張報告：同前

「日本リメディアル教育学会第10回全国大会」

東京電機大学、平成26年8月21日（木）～22日（金）

出席者：溝渕 淳（学習支援室長）

出張報告：第6回センター運営委員会（平成26年10月8日（水））

「平成26年度 心の問題と成長支援ワークショップーメンタルヘルス向上とカウンセリング」

日本学生支援機構兵庫国際交流会館, 平成26年9月25日(木)・26日(金)

出席者: 濱田さつき (学生相談室カウンセラー・臨床心理士)

出張報告: 同前

「初年次教育学会 第7回大会」

帝塚山大学東生駒キャンパス, 平成26年9月4日(木)・5日(金)

出席者: 橋村 勝明, 田村 進

出張報告: 同前

「第6回 EMIR 勉強会」

関西学院大学, 平成26年9月19日(金)・20日(土)

出席者: 橋村 勝明

出張報告: 同前

「IRer 養成講座 / SDC 養成講座 in 九州」

TKP カンファレンスシティ博多, 平成26年10月24日(金)・25日(土)

出席者: 田川 知秀

出張報告: 第7回センター運営委員会 (平成26年11月12日(水))

「第60回公開研究会 学生調査と IR」

ホテルメトロポリタンエドモンド (東京), 平成26年10月21日(火)

出席者: 田川 知秀, 渡川 智浩 (学生サポート課係長)

出張報告: 第8回センター運営委員会 (平成26年12月10日(水))

5. 月例研究会

高等教育センターではセンター運営委員会後に、委員による研究発表の場を設けている。

「BECC における授業評価について」

発表者: Caleb Foale, 平成26年6月11日(水)

「本学授業評価アンケート結果の分析」

発表者: 田村 進, 平成26年7月9日(水)

「FD ワークショップの意義と実践について」

発表者: 橋村 勝明, 平成26年8月6日(水)

「GPA の現状と課題」

発表者: 橋村 勝明, 平成27年2月7日(土)

6. 刊行物

「広島文教女子大学紀要」第49巻

平成26年12月25日 発行 編集委員: 藤井 律子, 豊後 宏記

「広島文教女子大学高等教育研究」創刊号

平成27年3月1日 発行 編集委員: 豊後 宏記